

建設労務安全 2012. 6月号掲載 (労働調査会発行)



マンガ安全建設看板



キャラクターの「あんぜんまもるくん」



看板は地域の子ども達にも理解しやすい

お願い
御迷惑をおかけ
して居ります。
工事中御協力をお願いいたします。
協和建設

マンガで作業員の興味を惹き、安全意識向上へつなぐ 協和建設(株) (本社・福岡県直方市) の取り組み

協和建設(株) (谷口正晴社長) では、マンガやキャラクター (以下、マンガ等) を利用したさまざまな安全活動を展開している。その取り組みの1つが「マンガ安全建設看板」である。KY活動を従来の安全看板ではなく、マンガ等を用いたストーリー性のある安全看板にすることで、作業員の興味を惹き、災害のイメージがしやすくなっている。

また、作業指示書や啓発標識板などの作成時にもマンガ等を活用し、保護帽や重機にも、災害事例の1コママンガやキャラクターシールを貼り付け、注意喚起を実施。これらの取り組みによって、現場における安全管理活動が短時間で効率よく作業員へ周知でき、災害事故の防止にもつながっているとのこと。

このマンガ等を活用した取り組みは、現在までに同社の4現場、他社では3現場で導入され、各現場の作業員にアンケート調査も実施。結果は、マンガ等を用い

たKY活動について「短時間でできる」、「イメージしやすくわかりやすい」などの意見が大多数を占め、作業員の意識向上につながっていることが実証された。なお、近隣住民への周知・理解にも役立っているようだ。

このキャラクターやマンガの製作は、谷口社長のご息子がマンガ製作の事業を行っていることがキッカケとなっており、「マンガやキャラクターを使った安全活動は、コストの割に効果が高く効率的です」と、谷口社長はメリットを語る。

同社の取り組みは、「あんぜんプロジェクト」内にて開催された「『見える』安全活動コンクール」においても高く評価され、優良活動事例にも選出された。

建災防福岡県支部の理事も務める谷口社長は今後、このマンガ等を活用した新規入場者教育用テキスト作成や、RAなどを計画しており、九州全体に取組みを拡大させていく。